

皆さま、こんにちは。
アールラーニングの佐藤 環（さとう たまき）と申します。

今号は法人向けスマートフォン特集号としてお届けします！

今号の目玉は、スマホアプリの法人導入プロジェクトの第一人者 大木豊成氏と Titanium Mobileのエバンジェリストであるmasuidrive氏の競演による「活用される法人向けスマホアプリ開発の課題解決セミナー」です。人気の両講師のプレゼンテーションに加え、今回初競演となるパネルディスカッションが見所です。両社を中心とした本音トークにご注目ください！

詳細とお申し込みは以下をご覧ください。
<http://www. r-learning. co. jp/seminar20120201/>

それでは、今号も宜しく願いいたします！

/// INDEX //////////////////////////////////////

[News & Topics]

- ・ スマホアプリの法人導入プロジェクトの第一人者 大木豊成氏と Titanium Mobileのエバンジェリストであるmasuidrive氏講演決定！

「活用される法人向けスマホアプリ開発の課題解決セミナー」のお知らせ

[Web更新情報]

- ・ Active Directory構築ソリューションのページを公開 new！
- ・ 1月度 IT派遣業界向け勤怠管理ソリューション 「新月 -SHINGETU-」個別相談会
- ・ 経済産業省主催 ちゅうごく地域Rubyビジネスフォーラム 「Ruby活用促進地域リレーセミナー」で講演します

[Rails Hubホットトピック]

- ◆ 【技術コラム】 第7回
- ・ 【連載】 Railsで目指せ、情熱エンジニア 第8回 実例で学ぶRailsアプリのテスト方法

[コラム]

- 【単発コラム】 「法人向けスマホアプリのクロスプラットフォーム開発を考える」

//// News & Topics //////////////////////////////////////

◆2012. 02. 01開催（東京：無料）

- ・ スマホアプリの法人導入プロジェクトの第一人者 大木豊成氏と Titanium Mobileのエバンジェリストであるmasuidrive氏講演決定！

「活用される法人向けスマホアプリ開発の課題解決セミナー」のお知らせ

法人向けスマートフォンの普及が加速すると同時に課題も増えてきました。本セミナーでは法人向けスマートフォン導入プロジェクトの第一人者である大木豊成氏とiOSとAndroid OSの共用アプリケーション開発の先駆者であるAppcelerator Titanium Mobileのエバンジェリスト増井雄一郎氏を招き、法人向けの導入課題と開発・保守効率を向上させる最新技術について解説いたします。

【Agenda】
基調講演：「スマートデバイスの法人最新活用事例とアプリ開発周辺課題事例」
ページ(1)

講演者：イシン株式会社 代表取締役 大木 豊成氏

講演概要：スマートフォン、スマートデバイスの法人導入事例は着々と増えていますが、ネットなどで公開されている情報は「何台導入」や「営業マンが活用」といったものだけです。しかし現場では、社内システム連携のトラブルや現行のWindowsだけで構成されたシステムのために策定したセキュリティポリシーとの整合性に苦慮されている企業は少なくありません。また、貸与した社員が活用できず、デスクに置いたままになっている企業もあります。せっかく作ったアプリも活用されない、ということが起きないために、こういった課題があり得るのか、といったことについてお話しいたします。

Titanium Mobileテクニカルレビュー

講師：Appcelerator Inc. 増井 雄一郎氏/㈱アールラーニング 小澤 栄一

Titanium Mobileコンサルサービスのご紹介

講師： ㈱アールラーニング 佐藤 環

Titanium Mobile教育サービス

講師：グローバルナレッジネットワーク㈱ 田中 亮氏

登壇者全員によるパネルディスカッション

■詳細とお申し込みは以下をご覧ください。

<http://www.r-learning.co.jp/seminar20120201/>

//// Web更新情報 //////////////////////////////////////

[2012.01.12]

Active Directory構築ソリューションのページを公開

⇒<http://www.r-learning.co.jp/news/20120112/>

[2012.01.09]

1月度 IT派遣業界向け勤怠管理ソリューション「新月 -SHINGETU-」相談会

⇒<http://www.r-learning.co.jp/news/20120109/>

[2012.01.05]

経済産業省主催 ちゅうごく地域Rubyビジネスフォーラム

「Ruby活用促進地域リレーセミナー」で講演します

⇒<http://www.r-learning.co.jp/news/20120105/>

//// Rails Hubホットトピック //////////////////////////////////////

◆【技術コラム】第7回

- ・【連載】Railsで目指せ、情熱エンジニア
第8回 事例で学ぶRailsアプリのテスト方法

⇒<http://bit.ly/zUy02J>

//// コラム //////////////////////////////////////

◆【単発コラム】

「法人向けスマホアプリのクロスプラットフォーム開発を考える」

+.....+
このメルマガのコラムには久しぶりに登場します。masuidriveのコラムを楽しみにしていた方すみませんww masuidriveは病気でもコラムが終了したわけでもなく、今号のみボタンタッチで私が担当させていただきます。改めましてアールラーニングでマーケティングアドバイザーをしている吉政と申します。宜しくお願ひいたします。

さて、本題です。今回のタイトルは「法人向けスマホアプリのクロスプラットフォーム開発を考える」です。企業向けのスマートフォンの採用は年々増えており、インプレスビジネスメディア「スマートフォン利用動向調査報告書2012」によると、スマホの企業導入率は23%になり、今後、さらに加速化するそうです。

既に国内シェアを含めて世界シェアでiOSを抜きNo1になったスマホOSはAndroidです。法人ユースが強いといわれているAndroidが法人普及とともにさらにシェアを広げるという考え方もあるようです。

BYODなどで企業アプリがスマホに乗るようになると、乗せやすさはAndroidよりもiOSのほうが機種数が少ないので、乗せやすいというのが正直なところだと思います。皆さまの会社はいかがでしょうか？

実はこの冬に登場するスマホの機種はAndroidを中心に50機種になるそうです。

当然、全ての機種を1社が導入するわけではないですが、全社員のスマートフォンを統一機種にするのはなかなか難しいですよ。販売停止になるものもありますし。。。

スマホはPCと比べて画面が小さいです。企業内普及を進めると、機種ごとに違う画面サイズに合わせた個別開発をするのはかなりお金と時間がかかりそうです。そこで、クロスプラットフォームやマルチOS開発という考え方が出てきますが、一括で開発できるなんて、そもそも信じていない技術者が多いと聞きます。

複数の機種に対して一括で開発することは理論的にはできても、実際はいろいろトラブりそうな感じがするのだと思います。

このメールマガジンでも告知していますが、その最新技術をご紹介しますのが、2月1日に開催する「活用される法人向けスマホアプリ開発の課題解決セミナー」なのです。クロスプラットフォーム開発の最新技術を見極めておくことは重要だと思います。興味がある方は以下をご覧くださいのうえ、是非ご参加ください。

■詳細とお申し込みは以下をご覧ください。
<http://www.r-learning.co.jp/seminar20120201/>

(マーケティングアドバイザー 吉政忠志)

編 | 集 | 後 | 記

明けましておめでとうございます。皆様は年末年始はリフレッシュできましたか？私は・・・あまり普段の生活と変わらなかった気がしますwさて、2012年は弊社が10年目を迎える年でもあります。一つの通過点ではありますが、新しいアールラーニングの歴史の1ページ目として私自身も初心にかえり精進していこうと思います。それでは皆様、今年もどうぞ宜しく願いいたします。(佐藤)

新年明けましておめでとうございます。今号ではスマホに関するセミナーや弊社エンジニアによるRuby活用の講演の情報をお届けすることができました。少しずつではありますが弊社の存在や取り組みを知っていただく機会が増えております。今年はそれを結果に繋げていけるよう頑張りますので、今年もどうぞよろしく願いいたします！(二瓶)

久しぶりのコラム登場でしたが、いかがでしょうか？増井さんを楽しみにしていた人ごめんなさい。また次号から復活しますので、ご安心ください。それでは、今年も宜しく願いいたします！！(吉政)

—◇読者の皆様へ◇—

本メールマガジンは情報共有の推進を目的としております。宜しければ、社内の他の方が閲覧できる社内掲示板や関係各所へのご転送をお願いいたします。

—◇本メールマガジンの登録解除方法◇—

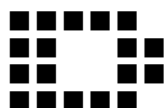
このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法

このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：

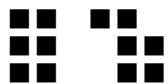
- (1) メールアドレス：
- (2) 氏名：
- (3) 会社名：
- (4) 部署名：
- (5) 役職名：



アールラーニング・メールマガジン「R-Times」

発行人：株式会社アールラーニング
 代表取締役 COO 金子 憲太郎

ページ(3)



r1014

編集人：サービス戦略室 室長 佐藤 環 / 主任 二瓶 航
マーケティングアドバイザー 吉政 忠志
(c) R-Learning Co.,Ltd. All Rights Reserved.